第４学年算数科「式と計算のじゅんじょ」単元構想図（総時数６時間）

本単元で必要とされる既習の基礎的・基本的な知識・技能及び考え方

(1) 知識・技能

（２年）①　（　）先行の計算のきまり

②　まとめて数えたり分類して数えたりすること

③　１つの数をほかの数の和や差や積としてみること

④　乗法が用いられる場面を式で表したり、式を読み取ったりすること

（３年）⑤　乗法の結合法則

⑥　分配法則

⑦　数量の関係を式に表したり、式と図を関連付けたりすること

（４年）⑧　長方形を組み合わせた図形の面積の求め方

(2) 考え方

㋐　工夫して問題を把握し、解決の見通しを立てる。

㋑　多様に考えようとする。

【 指 導 計 画 】

時	主な学習活動・内容	基礎的・基本的な知識・技能及び考え方の活用		活用を促進するための手だて
1	おつりや代金を求める計算を、言葉の式を基にして（　）を用いて１つの式で表す。 Ａ　言葉の式 Ｂ　（　）がある計算のきまり Ｃ　乗法先行のきまり 言　言葉の式を用いて数量の関係を表す。	①㋐	（　）をつけなかった場合の計算結果から、（　）の必要性を考える。 問題場面を絵や図で表す。	絵図や線分図を用いて簡潔に整理し、言葉の式に表していくよさを実感させるために、情報過多の問題を示す。
2	四則や（　）が混合している計算の順序を整理し、正しく計算する。 Ｄ　乗除法先行のきまり Ｅ　左から順に計算すること 言　「まず」、「次に」、「最後に」などの順序を示す言葉を用いながら計算の仕方を説明する。	⑤⑥ ＢＣ	四則や（　）の中の計算が表しているものと問題文とを関連づける。	計算のきまりを確認し、定着させるために、5+2×3=21などの誤答を示し、言葉の式や図と照らし合わせ、間違えた理由を考えさせていく。
３ 本 時	**並べられたものの個数の求め方をいろいろな図や式に表したり、図や式の説明をしたりする。** **Ｆ　図を基に数量関係を式に表すこと** **Ｇ　式から数量関係を読み取ること** **言　図と式を対応させながら、それぞれが表している量や数量関係を説明する。**	**②③ ④⑦ ⑧㋐ ㋑Ａ ＢＣ ＤＥ**	**並べられたものの中にまとまりを見出し、個数を効率的に求める。** **長方形を組み合わせた面積の求め方を利用し、全体から部分を引いて個数を求める。** **求め方を図や式に表し、図や式の説明をする。**	**多様な方法で個数が求められるようにするために、図を書き込めるカードを多数用意する。**
4 5	整数の計算のきまりをまとめ、交換法則、結合法則、分配法則を活用し、工夫して計算する。 Ｈ　整数の計算のきまり Ｉ　計算のきまりを使って工夫した計算のよさ 言　計算のきまりを使い、工夫して計算した感想を発表し、よさを共有し合う。	③⑤ ⑥Ａ ＢＣ ＤＥ ＦＧ	99を100−1、24を4×6とみなすなど、数を多様にとらえる。 四則計算のきまりを活用し、できるだけ簡単な計算にする。	工夫して計算することを想起しやすくするために、99を100−1とみなす方法を「100活用方式」と名付けるなどして意識付け、解決の見通しを立てる際のヒントにさせる。
6	既習事項の復習をする。	ABCDE FGHI		